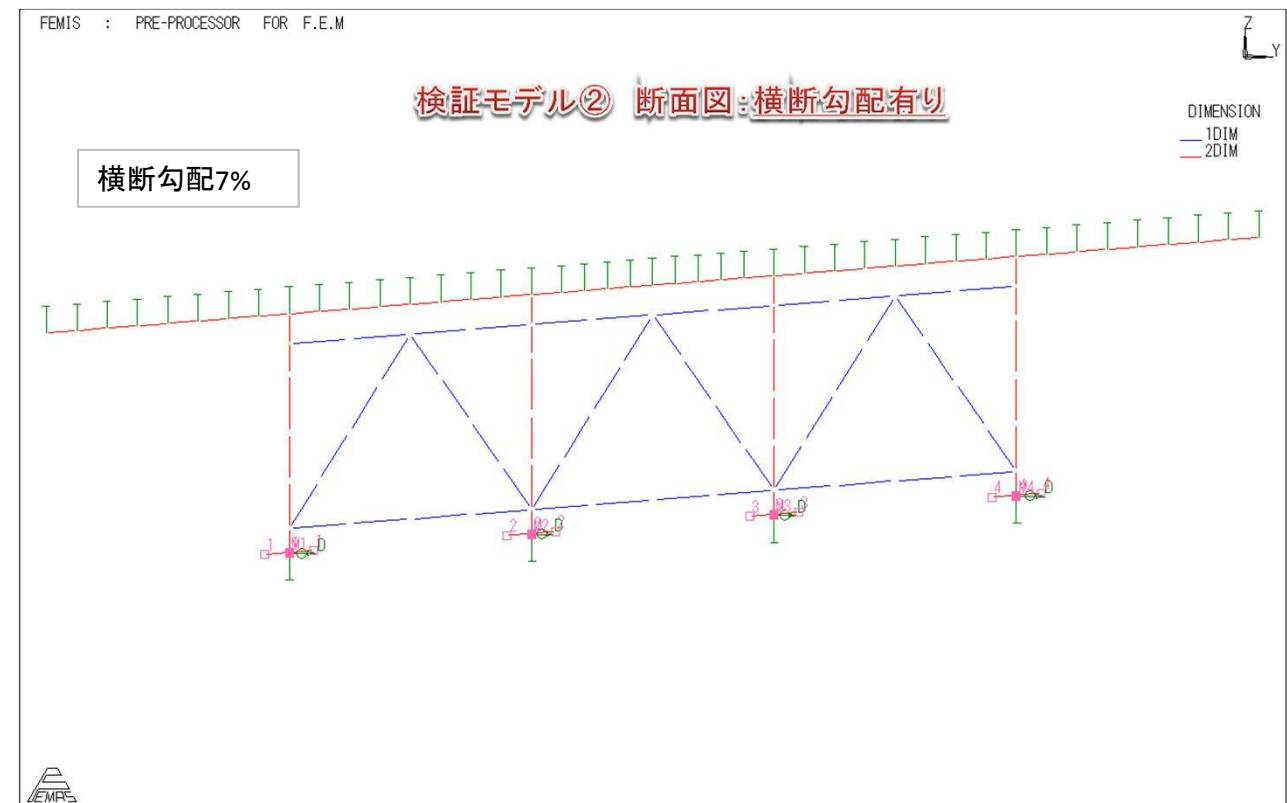
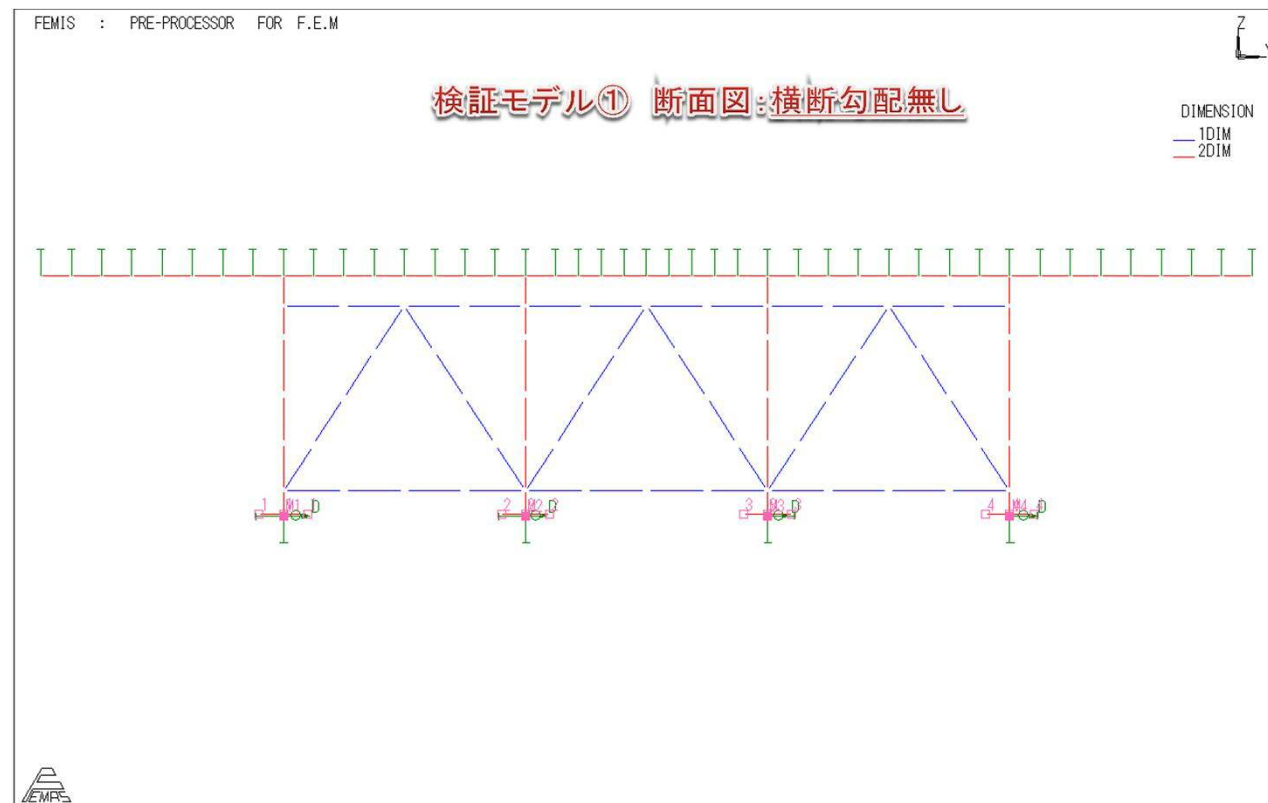
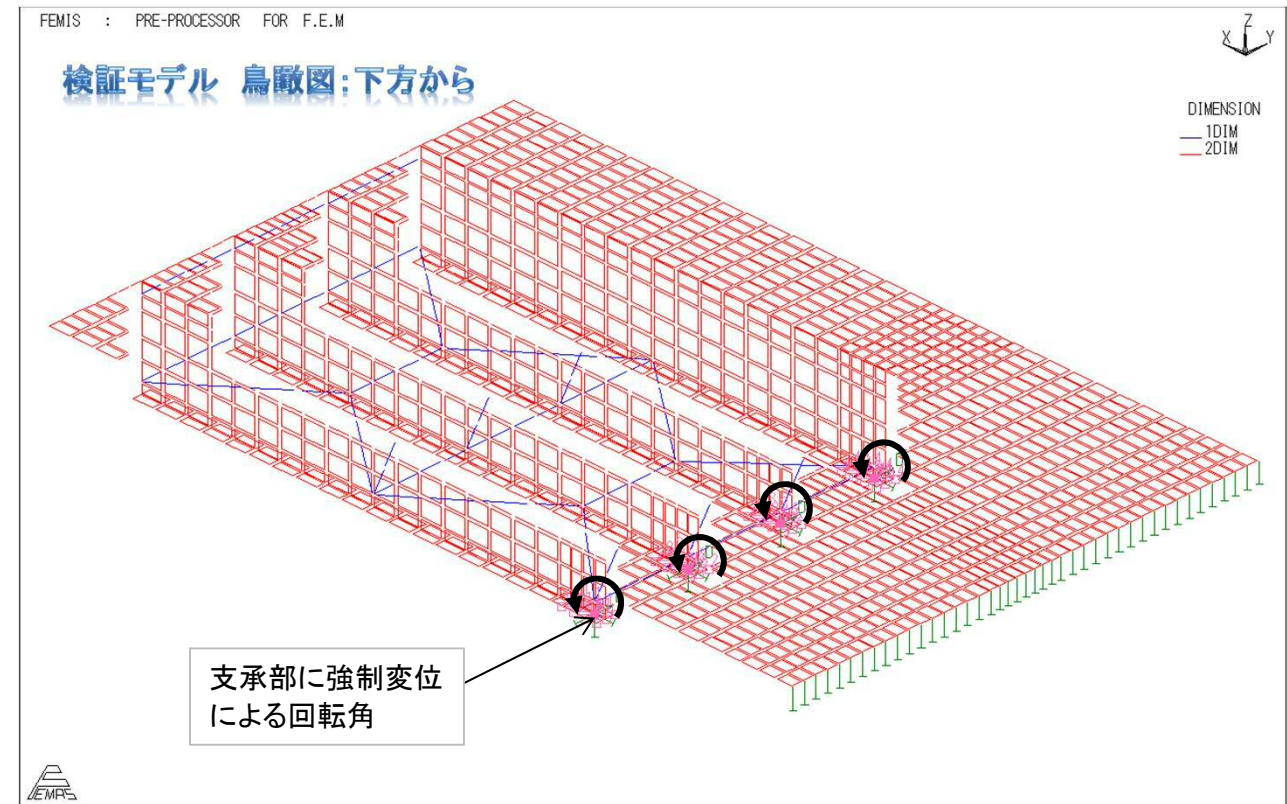
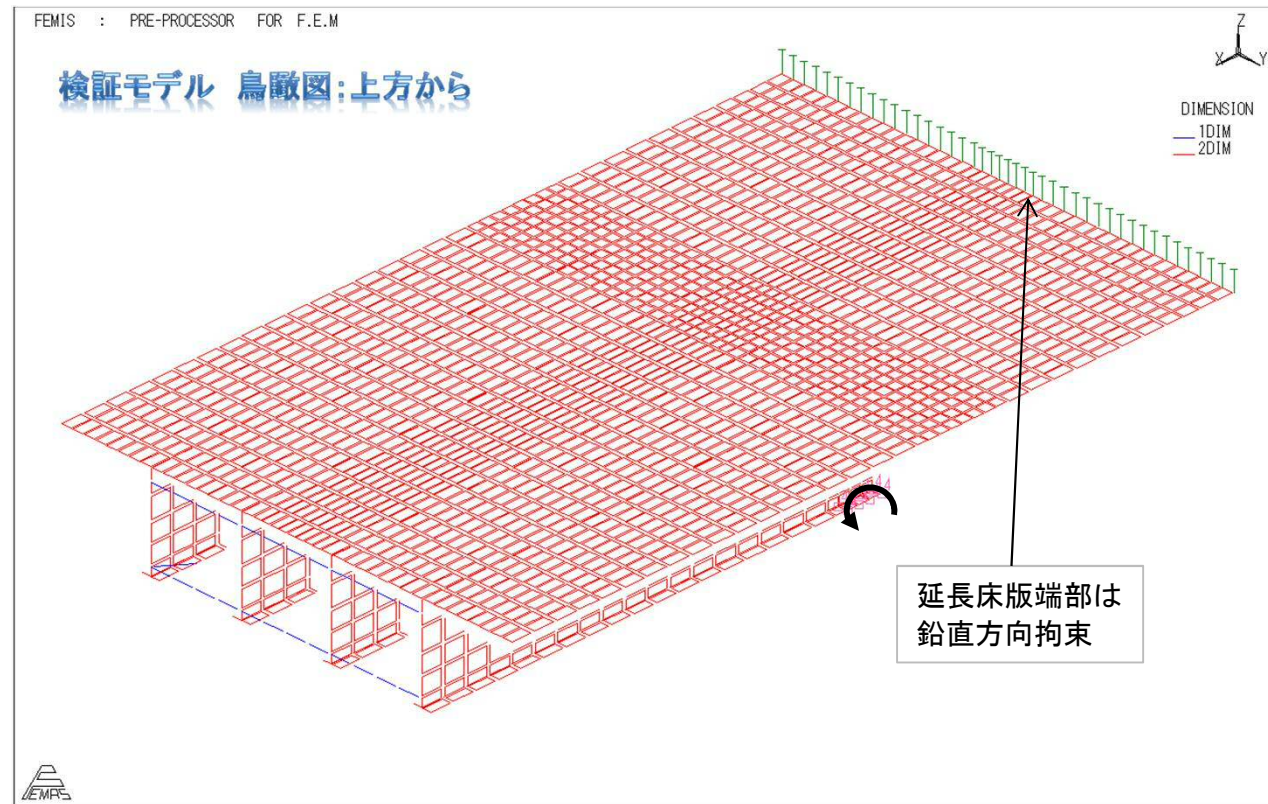


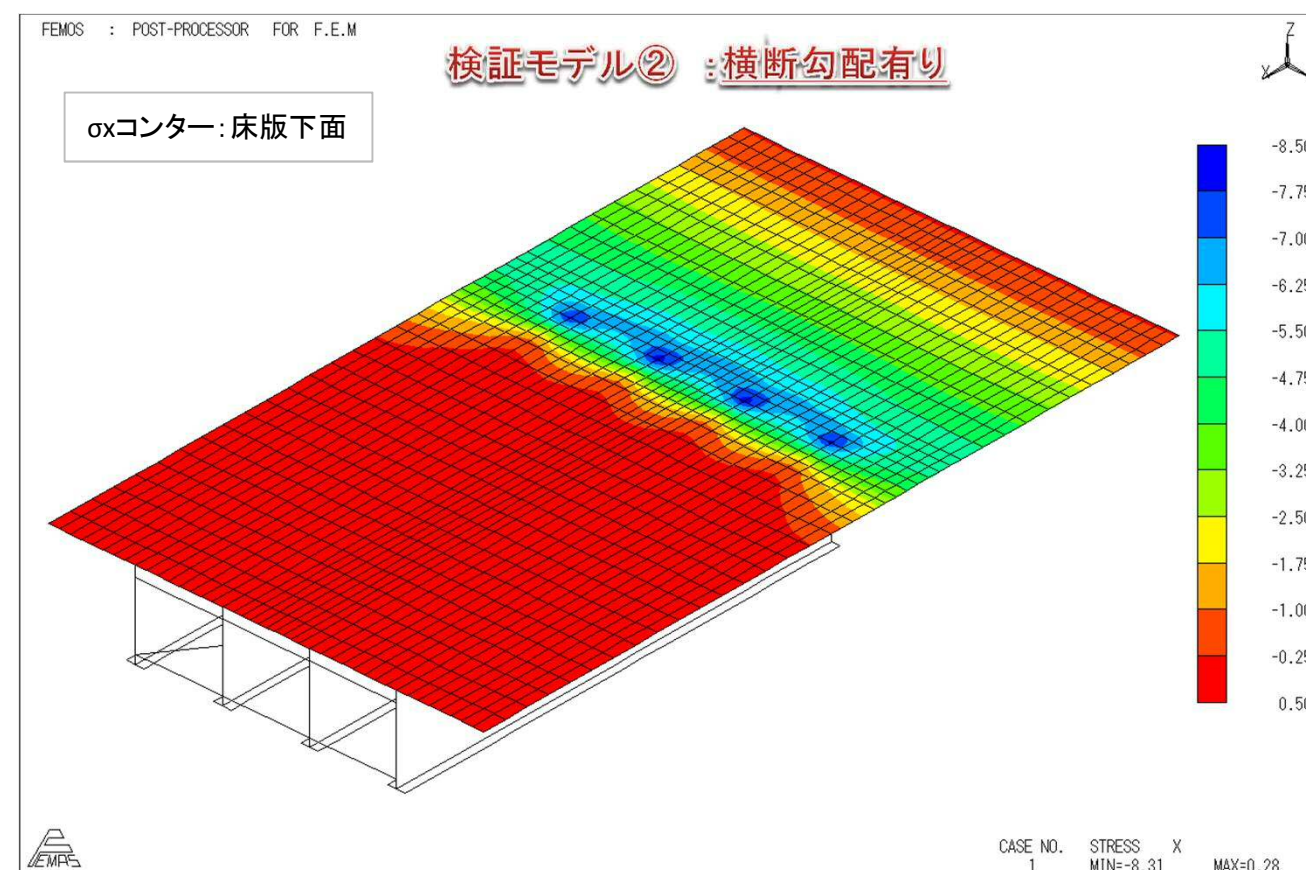
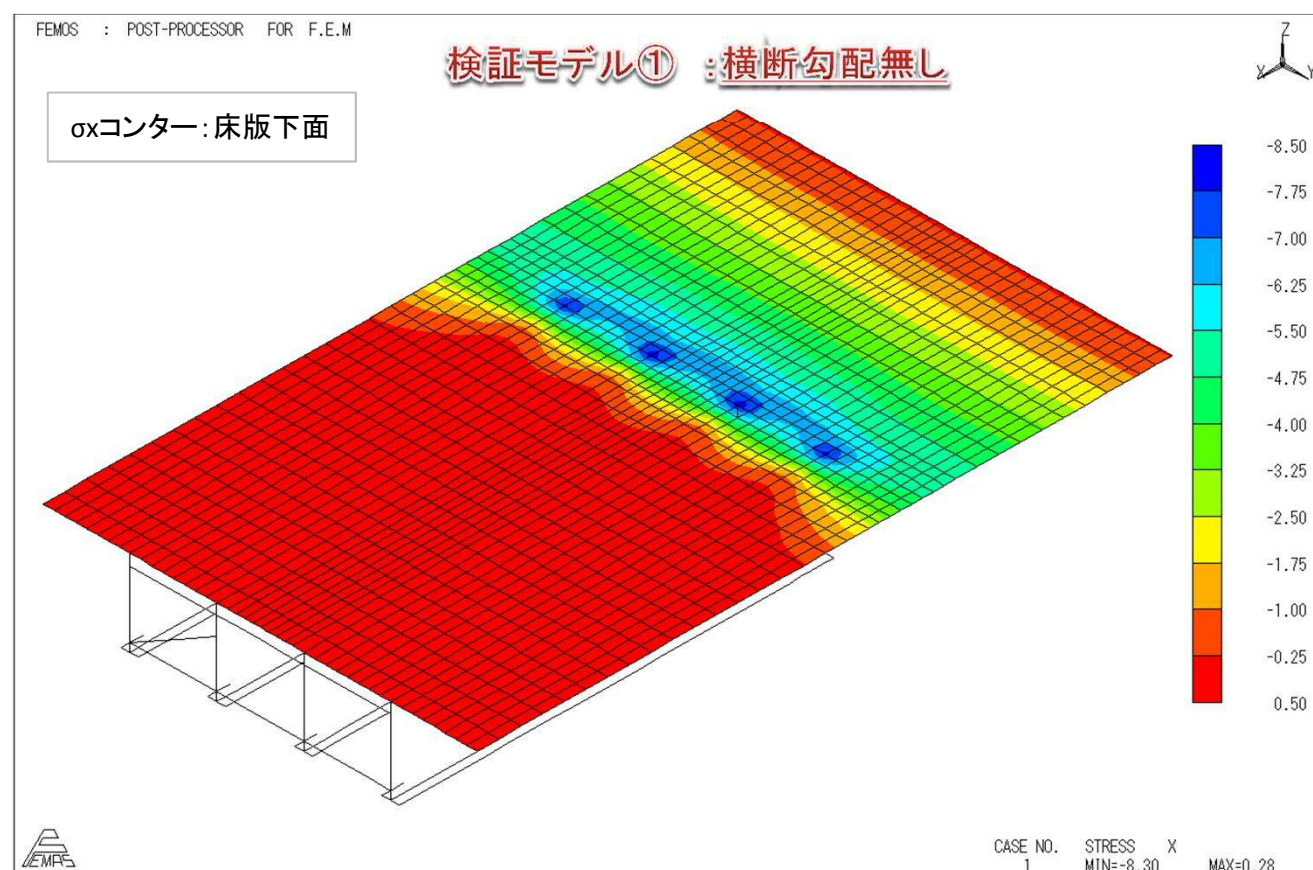
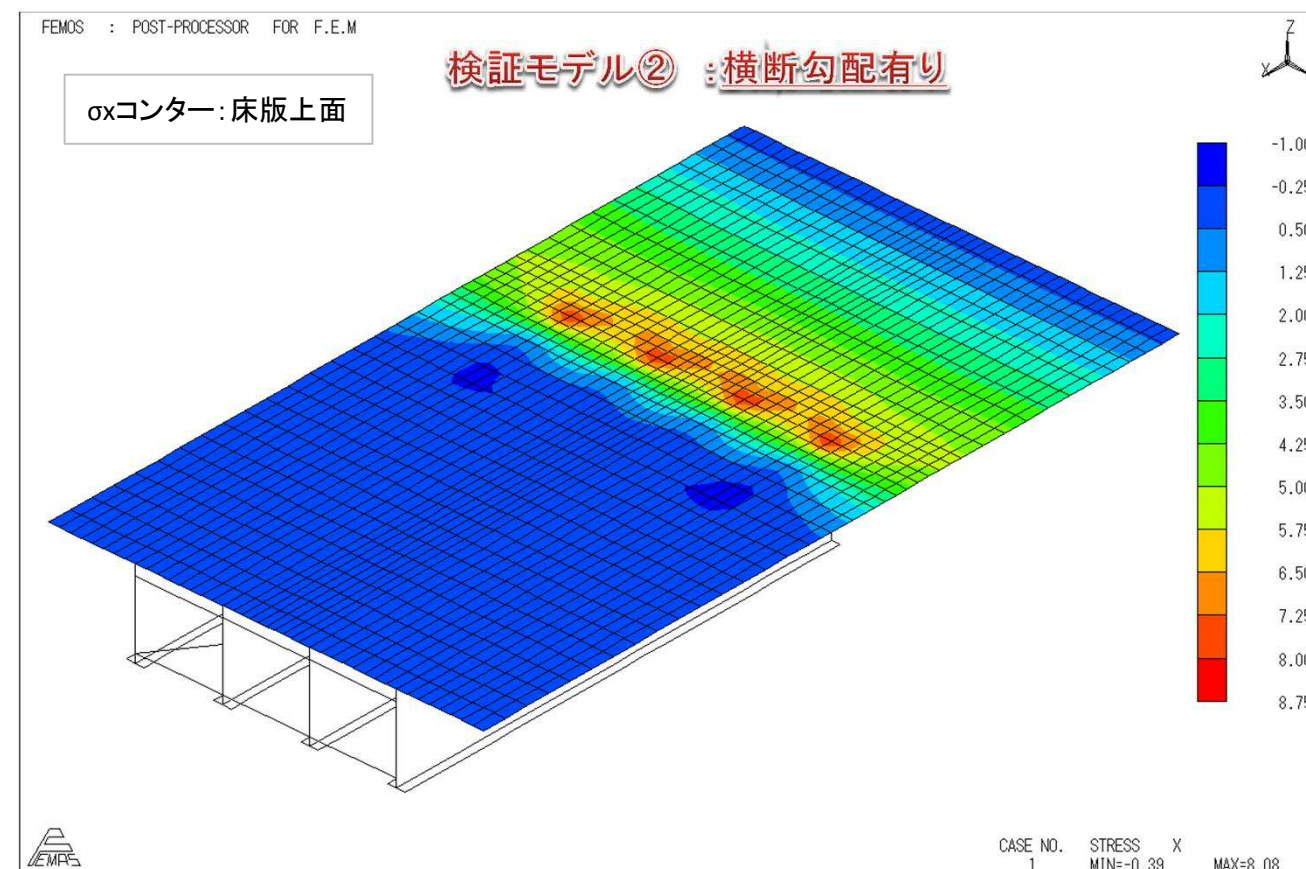
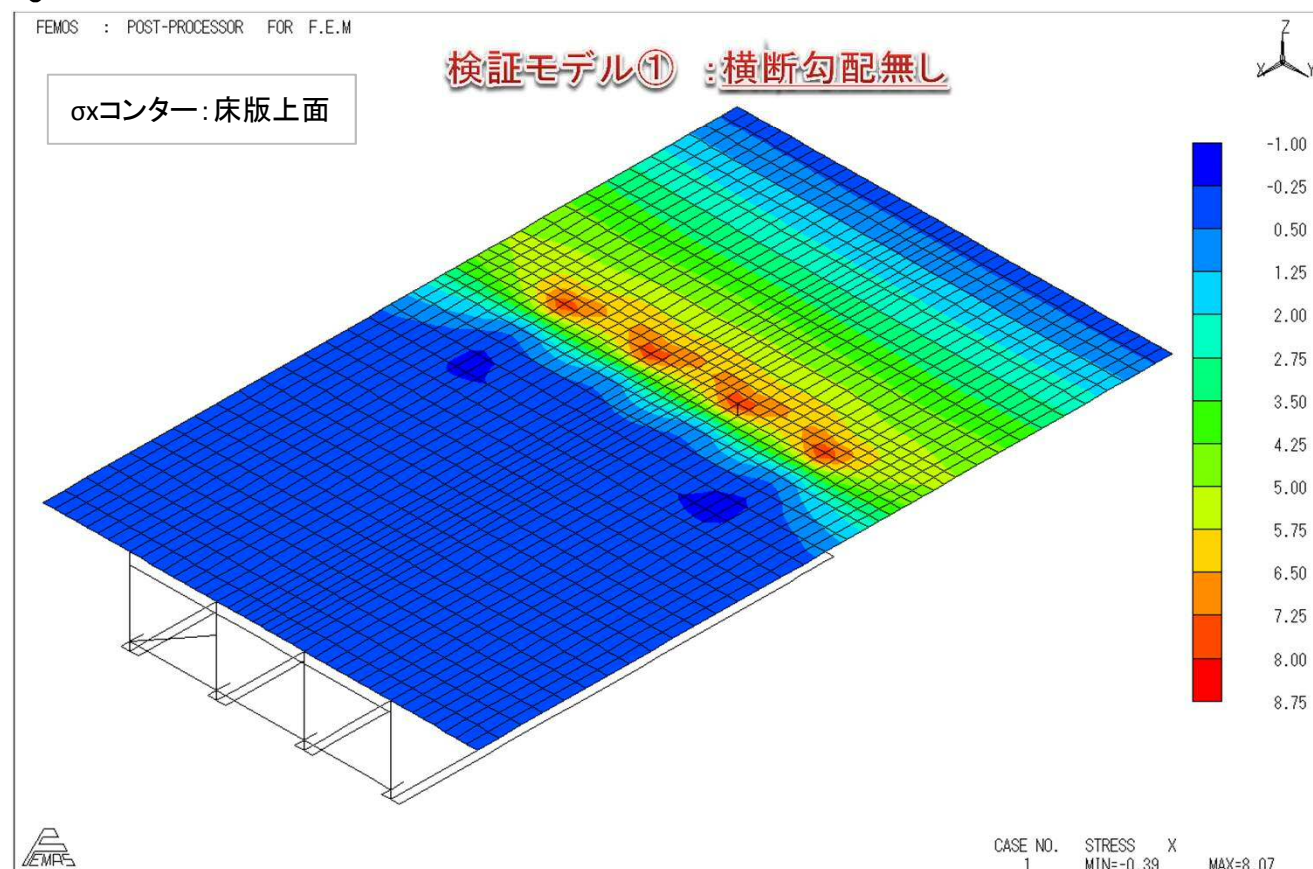
【検証内容】

延長床版等の解析を行う際、横断勾配の大きいケースがみられる。その際、横断勾配を考慮したものと無視したモデルによって結果が大きく変化するか検証した。
モデルは簡易的にシェル要素とビーム要素を用いた。
荷重としては、フレーム計算等で算出された支承の回転角をモデルの支承部に与え、延長床版部に発生する応力を確認する。



【検証結果】

延長床版上下面に発生する橋軸方向の応力はほとんど差が無かった。したがって、横断勾配の影響はほとんどないことが確認できた。



【検証結果】

延長床版上下面に発生する橋軸直角方向の応力もほとんど差が無かった。したがって、横断勾配の影響はほとんどないことが確認できた。

